

asobi基地キャンプ・春（御宿）持ち物

	チェック	備考
着替え		「服が汚れるでしょ！」と叱らずに済むように、汚れてもいいものを中心に、着替えを多めに用意してください。天気が良ければ日中は20℃に届くこともあるかもしれませんが。長袖・長ズボンをベースに、上着を脱ぎ着して調整できるといいでしょう。トイレに行きにくくなる子もいるので、不安がある場合は、下着は多めに。パジャマは荷物が増えるだけですし、汚れると気になるので、スウェットやジャージ等での代替がおすすめです。
防寒着		晴れていても、風が吹くと体感温度がグッと下がりますので、防風性能の高いウインドブレーカー等があると重宝します。また、夕方～夜～早朝は、10℃前後になる可能性がありますので、念のため冬物のジャンパーやダウンジャケット等を必ず持参してください。
レインウェア		晴れ予報でも必ず持参をお願いします。アウトドアでは、手がふさがってしまうと思うように動けませんので、傘のみはNGです。防水透湿素材の上下があると、子どもたちは、悪天候をモノともせず、ヘッチャラで遊び回ります。参考： 雨のキャンプが劇的に楽しくなる！レインウェア（雨合羽）の選び方 完全解説
バスタオル /お風呂用品ほか		藤井荘で入浴ができます。アメニティはリンズインシャンプー、ボディークリーム、ドライヤーのみとなりますので、必要に応じて持参をお願いします。また車15分ほどのエリアに「 勝浦ホテル三日月 アクアパレス 」や「 勝浦つるんつるん温泉 」等があります。1泊と短いので、状況により無理に入浴せず、イベント終了後に入浴して帰るのもおすすめです。
水遊びの支度		徒歩2～3分のところに海があります。水遊びする気温じゃないから遊ばない……とは、大人の楽観。12月でも平気で遊びます（笑）水着を着るほどではないにしても、着替えは多めに準備しておく安心です。
食器セット		①カトラリー（箸、スプーン、フォーク） ②コップ ③カレーを盛れるような深皿 ④スープが飲めるお椀 以上の4点セットが基本となります。アウトドアではなるべくゴミを減らしたいため、リユース食器（プラスチック、ホーロー、メラミンなど割れにくい素材のもの）を推奨しますが、焚き火で焼却できる素材で、しっかり焼却処分していただけるなら、使い捨て食器もOKです。
ネックライト		夜間のテント内や手元用の明かりです。片手がふさがると不便なケースが多いため、懐中電灯やスマホのLEDライトでなく、ネックライトをおすすめします。例： https://amzn.to/30Egzav
保険証や常備薬など		asobi基地・関東 アウトドア部では、擦り傷、切り傷、火傷用の湿潤治療の処置材のみ用意しています。それ以外は、通常の家旅行同様に、各自で準備をお願いします。
消毒薬／ハンドソープ		炊事をする際には、マスク着用のうえ、手指の消毒（または手洗い）をお願いします。運営側でも消毒薬／ハンドソープを用意していますが、肌に合わないなどトラブルが考えられる場合は、各自で使用可能なものの用意をお願いいたします。

不織布のマスク		マスク着用シーンでは、大人は原則として不織布製のマスク着用をお願いします。
ハンギング ドライネット		必須ではありませんが、洗った食器の乾燥／保管場所としてとても重宝します。Amazon等で千円台から購入できますので、入手してしまってもよいでしょう。
モバイル バッテリー		【テント泊の方のみ】キャンプサイトに電源はありませんので、スマートフォン等の充電は、モバイルバッテリーの持参をお願いします。なお、docomo、au、SoftBank主要3キャリアの電波は、問題なく通じます。
枕		<p>【テント泊の方のみ】必須ではありませんが、特にお子さんは、枕が変わると、うまく寝付けないケースがあります。車参加の場合、自宅で使っている枕を持ち込むと、安眠できる可能性を高くできます。</p> <p>また、キャンプ用具レンタルに、枕は含まれないケースがほとんどです。Amazon等で、キャンプ用の携帯枕を購入するのもおすすめです。</p>
就寝時の防寒アイテム		<p>【テント泊の方のみ】夜間や明け方には、10℃以下にまで冷え込む可能性があります。寝袋の対応温度は5℃は必要です。冬物のジャンパーを着て寝袋に入ることによって寒さ対策はできますが、不安な方は、以下記事を参考にしてください。特に後者は、安価な上に、かさばらないので、キャンプ以外の緊急時にも備え、購入しておいてもよいでしょう。</p> <p>参考：寒くて眠れない！？春・初夏・秋キャンプの防寒対策 徹底解説</p>